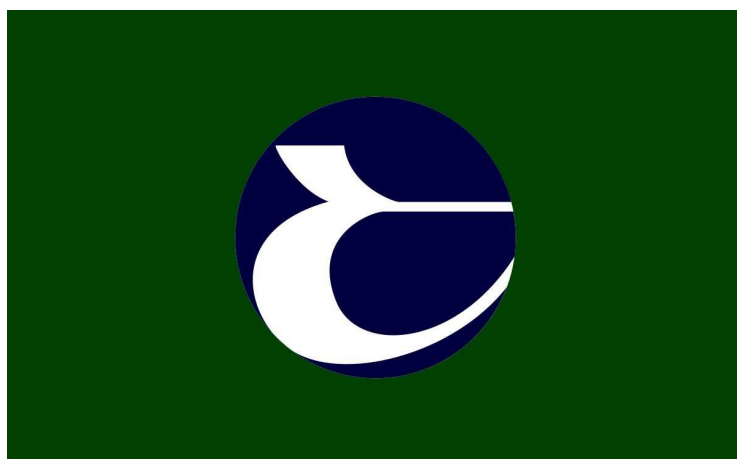


令和8年度

当別町の教育



当別町教育委員会

教育大綱

【経過】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、地方公共団体は、平成27年4月から教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下、大綱という。）を策定することとなった。

この改正をうけ、当別町では、平成27年と令和2年に大綱を作成し、令和7年3月に終期を迎えることから、令和6年度の総合教育会議において協議、調整を行い次期大綱を策定した。

この大綱に基づき、学校教育や社会教育のさらなる発展を図る。

【期間】

令和7年4月以降とする。それ以降、大綱を見直す必要が生じた場合は、総合教育会議において協議する。

【関連計画】

当別町総合計画

当別町教育大綱

当別町教育基本計画

各年度推進計画

【趣旨】

当別町の教育は、明治4年に仙台藩岩出山伊達家当主・伊達邦直公とその家臣が当別に入植して間もなく、家臣団の一人である鮎田如牛が、私塾を開いて移住者の子どもたちの教育を担ったことに始まります。

如牛は、自宅の傍に草小屋を建てて学舎とし、子どもたち数十名に読書、習字、数学を教えました。

これは学校制度が発布される数カ月前のことであり、困難な開拓当初にあっても「教育のことは1日もゆるがせにできない」として教育を重んじた強い意志の現れと言えます。

また、開拓時に考案されたと伝えられる当別村邑則は、開拓に向けた家臣一同の決意であるとともに、教育の方針を示すものでもありました。

町の未来を託す子どもたちの教育を何より重んじた精神は、現代まで脈々と引き継がれており、この理念を礎として、当別町の教育の総合的な施策の方針となる当別町教育大綱を策定します。（令和7年3月）

【当別町教育の基本理念】

- 1 強じんな精神とたくましい身体をつくる
- 2 科学的な知識や技能を身につける
- 3 豊かな情操の涵養と文化の創造につとめる
- 4 自主的な判断力と社会的徳性をつちかう
- 5 明るく豊かで住みよい郷土をきずく

【当別町教育の基本方針】

学校教育

- 1 一人ひとりを生かす創意ある学校経営
- 2 自ら考え創造する力を育てる学習指導
- 3 豊かな心で自ら実践する力を育てる生徒指導
- 4 生命を尊ぶ態度と強い身体を育てる健康安全指導

社会教育

- 1 自ら学び自ら活動し伝統を生かし当別をつくる人材の育成
- 2 明日を創造する青少年をたくましく育てる社会教育の推進
- 3 健康な心身をつくり明るいまちをつくるスポーツの推進
- 4 楽しさと生きがいをつくり育てる社会教育の推進

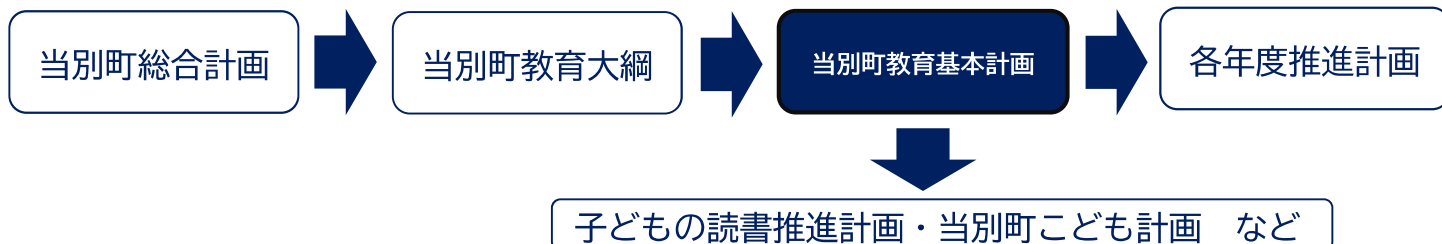
（書き下し文）
一、社を結て学校を立つべし、且、必読の書を讀めん事を要す、現今旧主与ふ所の書籍を以て此に備ふ、後ち之れを補ふべし
一、男女五歳より学校に入れ、読書・習字及び数学等の業を受くべし、若、期年になつて入れざるもの有らば、其父母を厳誹すべし
一、入学の子弟朝六時より八時まで読書、朝喫飯後十時より十二時まで習字、其後退散、暮六時を待ち学館に出て句読を受け九時に畢る、是れ即今人皆昼間勤務有り教授するを得ず、故に夕学を施く、有志の者自ら之に任す、他日生産の進を得ば宜く之れを畢むべし
一、十五、六歳に及て其才学を選み、本府大 schools に入れて方今有用の學術を學はしむべし

教育基本計画

【期間】

令和7年4月～令和12年3月

【関連計画】



【基本目標】

学校教育

1	確かな学力の育成	単なる知識の詰め込みではなく、子どもたちが社会に出てからも役立つ、より幅広い能力を育てます。そのために、学校教育において、社会の変化に対応できる力、自ら行動できる力の育成を図ります。
2	豊かな人間性の育成	心身ともに健やかに成長し、社会の一員として貢献できるような人間の育成を図ります。また、社会とのつながりを意識した学びにより、自らの夢を実現させるために必要な力を育みます。
3	健全な心身の育成	子どもたちが心身ともに健康で、社会の一員として主体的に生きていくために必要な基盤の育成を図ります。そのために、体力の向上、食育の推進、心の健康の増進など学校、家庭、地域社会が一体となった取り組みを進めます。
4	地域とともにある学校づくりの推進	学校が地域社会と密接に関わり合い、共に子どもたちの成長を支える教育活動の充実を図ります。そのために、地域社会の多様な資源を活用し、子どもたちが地域の一員としての自覚と責任感を育むことを目指します。
5	教育環境の充実	子どもたちが心身ともに健やかに成長し、学習意欲を高め、最大限の可能性を引き出すことができるようなより良い学習環境の充実を図ります。
	今後の事業展開	不登校支援における多様な学びの場の充実／デジタル教育の新たな展開／各学校校舎の整備／とうべつ未来学の推進／とべっこランチをはじめとした地元食材の活用／文化・芸術の振興（感性を育てる教育）／子どもの体力向上

社会教育

1	生涯学習の推進	町民一人ひとりが意欲をもって主体的に学べるよう、様々な年代のニーズに応じた学習機会のさらなる充実や施設の機能強化など、学習環境の整備を推進します。
2	文化・芸術・スポーツの推進	文化・芸術・スポーツは、人々に潤いのある心豊かな生活をもたらす創造性や情操、幸福感（ウェルビーイング）を育むものであり、町民が生涯にわたって文化・芸術・スポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。
3	歴史伝承と郷土愛の醸成	先人達の熱意と不屈の精神で開拓された当別町の歴史について理解を深め、郷土の素晴らしさを感じ、郷土を愛し誇りに思う気持ちを醸成できるよう学習活動等を推進します。
4	地域の教育力の向上	地域と学校、家庭の連携によって、地域の力を生かした教育活動の実現を図り、地域住民と子どもたちとの触れ合いや学び合いを通して、その地域に住む一人ひとりが地域貢献の意識を高めることにより、地域全体の教育力の向上を図ります。
5	社会教育施設の充実	町民が安心、安全、快適に利用できるよう施設の改修や整備を計画的に進め、町民の多様なニーズに対応した社会教育の場として社会教育施設の充実を図ります。
	今後の事業展開	学校部活動地域展開の推進／社会教育施設の整備／文化・芸術の振興（感性を育てる教育）〔再掲〕／子どもの体力向上〔再掲〕

教育推進計画

令和8年度
当別町教育推進計画



「未来を拓く9年間」当別町小中一貫教育

令和8年度 重点目標 **全ての子どもを社会と未来につなげる**
～児童生徒一人ひとりに応じた きめ細やかな指導を通して～

	学習指導	生徒指導	地域と共にある学校
重点課題	確かな学力の定着と生きる力の育成 ～教師の質を高める日常実践の充実～	児童生徒のウェルビーイングの向上 ～子どもの安心・安全を確保する学校風土の醸成～	地域と共にある学校づくりの推進 ～全ての子どもの育成を支える環境づくり～
学 校	<input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査等の結果分析を生かした授業づくりの促進 <input type="checkbox"/> 多様な子どもの資質・能力を育成する指導の充実 <input type="checkbox"/> 豊かな心と健やかな体の育成 <input type="checkbox"/> デジタル技術を活用した学習の促進 <input type="checkbox"/> 教科横断的な探究活動の充実	<input type="checkbox"/> 子どもの自己肯定感の育成 <input type="checkbox"/> 「生徒指導提要」に基づく、未然防止・ 早期解決につなげる生徒指導の充実 <input type="checkbox"/> 校内・校外教育支援センター等の活用による子どもの居場所の確保 <input type="checkbox"/> ICTを活用した生徒指導体制の充実 <input type="checkbox"/> 多様な子どもたちへの支援体制の充実	<input type="checkbox"/> 学力・体力向上に向けた家庭・地域との連携・協力 <input type="checkbox"/> 部活動地域展開に向けた準備・協力 <input type="checkbox"/> CS等を生かした望ましい生活習慣・学習習慣の定着 <input type="checkbox"/> 学校教育への地域人材の活用促進 <input type="checkbox"/> 当別の歴史と姉妹都市に関わる学習機会の拡充
委員会	<input type="checkbox"/> 「当別型複数指導体制」推進による子どもに寄り添う指導の充実 <input type="checkbox"/> 授業づくり、体力向上に向けた教職員研修の企画・推進 <input type="checkbox"/> 教職員の指導環境の整備（ICT機器、教材、教具等） <input type="checkbox"/> AIDRILの活用推進 <input type="checkbox"/> どうべつ未来学の充実	<input type="checkbox"/> 教育環境の整備（働き方改革の支援） <input type="checkbox"/> 子どもの学びを守る支援体制の深化 <input type="checkbox"/> 校内・校外支援センター・メタバース活用による多様な学びの機会の確保 <input type="checkbox"/> いじめアンケート・WebQU等の活用推進 <input type="checkbox"/> 加配活用等による支援体制の充実	<input type="checkbox"/> 地域と連携した学力・体力向上の推進 <input type="checkbox"/> 部活動地域展開の推進と連携 <input type="checkbox"/> 有識者・実践者を講師とした「CS学習会」の充実 <input type="checkbox"/> 「どうべつ未来学」・「とべっこランチ」を活用した、ふるさと教育の推進 <input type="checkbox"/> 姉妹都市交流の継続的な推進



未来を拓く9年間

当別町小中一貫教育

当別町のめざす子ども像

自らの未来を拓き やがては町の未来を拓く子ども

当別町教育の基本理念

- 1 強じんな精神とたくましい身体をつくる
- 2 科学的な知識や技能を身につける
- 3 豊かな情操の涵養と文化の創造につとめる
- 4 自主的な判断力と社会的徳性をつちかう
- 5 明るく豊かで住みよい郷土をきざぐ

当別町教育の基本方針

学校教育

- 1 一人ひとりを生かす創意ある学校経営
- 2 自ら考え創造する力を育てる学習指導
- 3 豊かな心で自ら実践する力を育てる生徒指導
- 4 生命を尊ぶ態度と強い身体を育てる健康安全指導

社会教育

- 1 自ら学び自ら活動し伝統を生かし当別をつくる人材の育成
- 2 明日を創造する青少年をたくましく育てる社会教育の推進
- 3 健康な心身をつくり明るいまちをつくるスポーツの推進
- 4 楽しさと生きがいをつくり育てる社会教育の推進

当別町総合計画

当別町教育大綱

当別町教育基本計画

各年度推進計画

今年度の最重点

- ① 支援体制の深化
 - ・当別型複数指導体制
 - ・校内外教育支援センター
 - ・心のコーディネーター
 - ・メタパス（仮想空間）
 - ・各機関のつながり

【基本目標1】確かな学力の育成

【基本目標2】豊かな人間性の育成

【基本目標3】健全な心身の育成

【基本目標4】地域とともにある学校づくりの推進

【基本目標5】教育環境の充実

【基本目標1】生涯学習の推進

【基本目標2】文化・芸術・スポーツの推進

【基本目標3】歴史伝承と郷土愛の醸成

【基本目標4】地域の教育力の向上

【基本目標5】社会教育施設の充実

今年度の重点

- ① 部活動地域展開の推進
 - ・令和9年度完全移行
- ② 更新端末の利活用
 - ・ICTを効果的に活用した学びの充実
- ③ とうべつ未来学の充実
 - ・探究活動を通じた系統的なふるさと教育
- ④ 食育とべっこうランチ
 - ・地元食材の活用促進
 - ・食育の充実

令和8年度
当別町教育推進計画

「未来を拓く9年間」当別町小中一貫教育

令和8年度 重点目標 全ての子どもを社会と未来につなげる
～児童生徒一人ひとりに応じた きめ細やかな指導を通して～

	学習指導	生徒指導	地域と共にある学校
重点課題	確かな学力の定着と生きる力の育成 ～教師の質を高める日常実践の充実～	児童生徒のウェルビーイングの向上 ～子どもの安心・安全を確保する学校風土の醸成～	地域と共にある学校づくりの推進 ～全ての子どもの育成を支える環境づくり～
学校	<input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査等の結果分析を生かした授業づくりの促進 <input type="checkbox"/> 多様な子どもの資質・能力を育成する指導の充実 <input type="checkbox"/> 豊かな心と健やかな体の育成 <input type="checkbox"/> デジタル技術を活用した学習の促進 <input type="checkbox"/> 教科横断的な探究活動の充実	<input type="checkbox"/> 子どもの自己肯定感の育成 <input type="checkbox"/> 「生徒指導提要」に基づく、未然防止・早期解決につなげる生徒指導の充実 <input type="checkbox"/> 校内・校外教育支援センター等の活用による子どもの居場所の確保 <input type="checkbox"/> ICTを活用した生徒指導体制の充実 <input type="checkbox"/> 多様な子どもたちへの支援体制の充実	<input type="checkbox"/> 学力・体力向上に向けた家庭・地域との連携・協力 <input type="checkbox"/> 部活動地域展開に向けた準備・協力 <input type="checkbox"/> C.S等を生かした望ましい生活習慣・学習習慣の定着 <input type="checkbox"/> 学校教育への地域人材の活用促進 <input type="checkbox"/> 当別の歴史と姉妹都市に関わる学習機会の拡充
委員会	<input type="checkbox"/> 「当別型複数指導体制」推進による子どもに寄り添う指導の充実 <input type="checkbox"/> 授業づくり、体力向上に向けた教職員研修の企画・推進 <input type="checkbox"/> 教職員の指導環境の整備（ICT機器、教材、教具等） <input type="checkbox"/> AIドリルの活用推進 <input type="checkbox"/> とうべつ未来学の充実	<input type="checkbox"/> 教育環境の整備（働き方改革の支援） <input type="checkbox"/> 子どもの学びを守る支援体制の深化 <input type="checkbox"/> 校内・校外支援センター・メタパス活用による多様な学びの機会の確保 <input type="checkbox"/> いじめアンケート・WebQU等の活用推進 <input type="checkbox"/> 加配活用等による支援体制の充実	<input type="checkbox"/> 地域と連携した学力・体力向上の推進 <input type="checkbox"/> 部活動地域展開の推進と連携 <input type="checkbox"/> 有識者・実践者を講師とした「C.S学習会」の充実 <input type="checkbox"/> 「とうべつ未来学」・「とべっこうランチ」を活用した、ふるさと教育の推進 <input type="checkbox"/> 姉妹都市交流の継続的な推進

教育施設



とうべつ学園



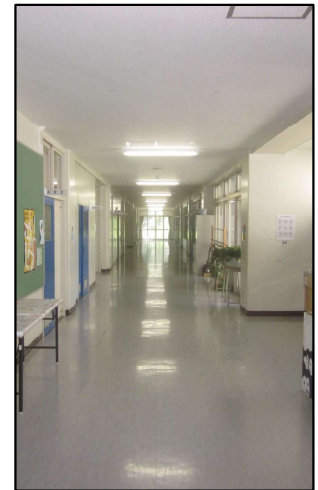
※学校概況は8ページ

西当別小学校



※学校概況は10ページ

西当別中学校



※学校概況は12ページ

社会教育施設



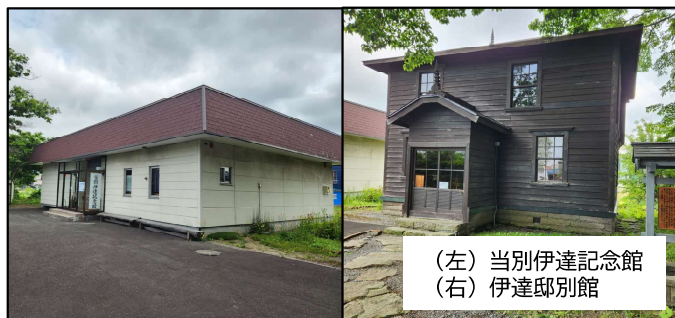
当別町総合体育館



白樺コミュニティセンター



西当別コミュニティセンター



(左) 当別伊達記念館
(右) 伊達邸別館



世紀会館



当別町図書館

※施設の詳細は22ページ

学校教育

とうべつ学園開校

- 施設一体型義務教育学校として開校（令和4年4月）
- 児童生徒数約430名、教職員数70名、道内有数の規模
- 9年間を「基礎期（1～4年）」「充実期（5～7年）」「発展期（8～9年）」に分け、児童生徒の発達段階に応じた教育を実施
- 義務教育学校の特色を生かした教育活動
 - ・一部教科担任制（理科、英語、音楽、図工、体育、家庭科等）
 - ・スポーツフェスティバル（運動会・体育祭）（1日日程で全学年参加）
 - ・学習発表会（1～6年） ・学園祭（5～9年）
 - ・縦割り班活動（1～4年） ・生徒会活動（5～9年）
 - ・5年生から部活動参加
- 道内外から約100件の視察受入
- 石狩管内課題研究発表会を実施（令和6年11月）



とうべつ学園校舎内



石狩管内課題研究発表会

特色ある教育活動

●独自教科「とうべつ未来学」の実施

ふるさと教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「お米博士になろう」（小3） ※町内農家の協力の下、田植え・稲刈り体験等を通じて、基幹産業の稲作について学ぶ ※とうべつ学園は水田発祥の地で実習 ・「大豆博士になろう」（小4） ※種まき、収穫、豆腐作りを体験
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・町内事業所での職場体験学習（中2） ・とうべつ未来学講座（小5～中3） ※著名人等による「将来の夢」をテーマとした講演授業 R5講師：高木慶太氏（チェロ奏者） R6講師：岡崎正治氏（テノール歌手） R7講師：Rihwa氏（シンガーソングライター）
国際理解教育	<ul style="list-style-type: none"> ・スウェーデン交流センター訪問（小5） ※スウェーデンの文化を学習 ・JICA訪問授業・出前講座（小6・中1） ※海外の国々の文化や情勢等について学習



田植え体験



とうべつ未来学講座

●当別型複数指導体制

- ・加配教員や会計年度任用職員を学級の状況に応じて複数配置することで、教員の負担軽減とともに、多様な子どもたちに寄り添った指導や支援を実施
- ※主な会計年度任用職員
学力向上推進講師（4名）
特別支援教育支援員及び介助員等（10名）
外国人児童生徒支援員（2名）

●姉妹都市交流

- ・町内3校と岩出山小・中で姉妹校締結（令和5年6月）
- ・町内3校と岩出山小・中がオンラインでつながり、給食を食べながら児童生徒間で交流（令和7年2月）
- ・岩出山小児童が来町し町内3校と交流（令和7年6月）



当別型複数指導体制

近年の取組状況

学校教育

教育のICT化



電子黒板を使用した授業

- 学校教育におけるICT環境整備
 - ・児童生徒の習熟度に応じた問題が出されるAIドリル「ミライシード」を導入（令和5年度～）
 - ・電子黒板を全校普通教室に整備（令和5年度～）
 - ・学校におけるICT活用を支援するため「ICT支援員」を配置（令和5～7年度）
 - ・児童生徒のデジタルリテラシー習得のためネットモラル講演授業を実施（令和5～7年度）
 - ・一人一台ICT端末の更新（令和7年度）



デジタル仕様の普通教室

学校環境の整備

- 町内全校にエアコンを整備（令和6～7年度）
 - ・熱中症対策として教室、職員室等に設置
- 西当別小・中学校のトイレ改修（令和4～7年度）
 - ・町立学校の洋式化率を約80%に改善
- 西当別中旧パソコン室をデジタル仕様に改修（令和6年度）
 - ・普通教室の2倍以上のスペース
 - ・可動式の机椅子、前横3面のスクリーン、壁面一面のホワイトボードを設置
 - ・天井に備え付けられたプロジェクターにより、授業やプレゼンの資料が大画面で映る
 - ・一斉学習だけでなく、グループ別学習や同時複数のプレゼン発表など、様々なスタイルの学習形態に対応



当別町の支援体制

児童生徒が安心できる環境づくり

- いじめ、不登校、児童虐待など、児童生徒を巡る多様な問題に対応するため、町費で心のコーディネーターを配置（令和5年度～）
- 教室以外の児童生徒の居場所として町内全校に校内教育支援センター「からふる」を設置（令和5年度～）
- 登校が難しい児童生徒の居場所として西当別地区に校外教育支援センター「つなぐっとルーム」を設置（令和6年度～）
- 学級経営に役立てるため、児童生徒の心理状況や学級内の人間関係等を客観的に把握できるWEBアンケート「WEBQU」を全児童生徒に導入（令和6年度～）



教育支援センター「つなぐっとルーム」

食育の推進



とべっこランチ

- 当別町にゆかりのある食材や旬の食材を提供する特別給食「とべっこランチ」を月1回提供（令和5年度～）
【とべっこランチ メニュー例】
 - ・調理員手作りのとんかつ・ハンバーグ（町内農場産の豚肉使用）
 - ・当別町産野菜の夏野菜カレー
 - ・スウェーデン料理（魚のスープ「フィスクソッパ」など）
- 給食費の無償化（小学校：国施策、中学校：町独自施策）（令和8年度～）

社会教育

生涯学習・地域協働

- 町立学校のコミュニティ・スクールの活動推進
 - ・ 委員向け研修会の開催、CS間の交流（令和6年度～）
 - ・ 地域課題解決に向けた委員間の熟議の活性化（外国籍住民との共生・交流等について議論）
- 小学生～大学生が地域の課題や地域の未来について考える「TOWNミーティング」を実施
 - ・ R6「これからも住み続けたい当別町ってどんなまち？」
 - ・ R7「地域活性化につながるイベントを企画しよう！！」



コミュニティ・スクール

部活動の地域展開

- 総合型地域スポーツクラブ特定非営利活動法人ふれ・スポ・とうべつに統括コーディネーターを配置して、平日・休日の部活動地域展開を推進
 - ・ 令和6年度 地域展開基本方針策定
 - ・ 令和7年度 剣道クラブ、卓球クラブ（先行実施）
地域展開推進計画策定
当別地域クラブ設立
 - ・ 令和8年度 活動種目を拡充し、クラブ運営体制を整備
 - ・ 令和9年度夏 全ての部活動の地域展開を目指す



TOWNミーティング

文化公演事業

- 町民が本格的な舞台芸術に触れる機会の充実のため実施
 - ・ 令和6年度
「テノールとハープ♪ピアノの夕べ」（岡崎正治氏他）
「川上天馬エレクトーンライブ」（川上天馬氏）
 - ・ 令和7年度
「TOBETSUプレミアムコンサート」（高木慶太氏、岡崎正治氏、水野麻衣子氏、札幌交響楽団奏者他）



部活動地域展開

プログラミング教室

- 将来を担う児童生徒の育成として、新たな社会に適應できる人材を育成するために、早い段階からプログラミング技術等を習得することを目的として、主に小学生を対象に実施（令和4～7年度）



文化公演事業

社会教育施設の整備

- 西当別コミュニティーセンターを指定管理化（令和7年度）



プログラミング教室

令和8年度の教育 目次

【 巻頭 】

- 1 教育大綱
- 2 教育基本計画
- 3 教育推進計画
- 4 グランドデザイン
- 5 教育施設
 - ① とうべつ学園
 - ② 西当別小学校
 - ③ 西当別中学校
 - ④ 社会教育施設
- 6 近年の取組状況
 - ① 学校教育
 - ② 社会教育

【 教育計画 ・ 予算 】

- 1 学力向上プラン …………… 1
- 2 体力向上プラン …………… 2
- 3 コミュニティ・スクール(CS) …… 3
- 4 教育予算 …………… 4

【 学校教育 】

- 1 重点目標 …………… 7
- 2 現況
 - (1) 学級数及び児童生徒・教職員数 …… 7
 - (2) 学校概況
 - ① とうべつ学園 …………… 8
 - ② 西当別小学校 …………… 10
 - ③ 西当別中学校 …………… 12
- 3 学校給食 …………… 14
- 4 保護者支援制度
 - (1) 就学援助 …………… 15
 - (2) 特別支援教育就学奨励費 …… 16
 - (3) 特別支援学級等通学援助費 …… 16

【 社会教育 】

- 1 重点目標 …………… 18
- 2 事業
 - (1) 生涯学習推進事業 …………… 18
 - (2) 読書活動推進事業 …………… 19
 - (3) 生涯スポーツ推進事業 …… 20
- 3 学校教育との連携事業 …… 21
- 4 社会教育施設
 - (1) コミュニティセンター・文化施設等 22
 - (2) 体育施設 …………… 23

【 教育委員会 】

- 1 教育委員会
 - (1) 教育長及び教育委員 …… 25
 - (2) 令和8年度活動予定 …… 26

【 資料 】

- 1 教育委員会組織図及び各課の分掌事務 28
- 2 教育委員会事務局 職員一覧 …… 29
- 3 教育委員会の附属機関等 …… 30
 - (1) 当別町教育支援委員会
 - (2) 当別町特別支援教育推進サポート組織
 - (3) 当別町いじめ問題調査委員会
 - (4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師
 - (5) 当別町学校給食センター運営委員会
 - (6) 当別町学校運営協議会
 - (7) 当別町文化財調査審議会
 - (8) 当別町社会教育委員会
 - (9) 当別町地域学校協働本部運営委員会
 - (10) 当別町子ども読書活動推進委員会
 - (11) 当別町スポーツ推進委員

4	教育関係各種団体	35
	(1) 当別町文化協会 加盟団体	
	(2) 当別町スポーツ協会 加盟団体	
	(3) 当別町子ども会育成連合会 加盟団体	
5	指定文化財一覧	37
6	教育の沿革	38
7	統計データ	44
	(1) 小中学校施設の概況	
	(2) 児童生徒数の推移	
	(3) 各学校統合年の一覧	
	(4) 就学援助の状況	
	(5) 特別支援教育就学奨励費の状況	
	(6) 特別支援学級等通学援助費の状況	
	(7) 社会教育施設利用状況	

※本冊子における用語は、次のとおりとする。

小学校・・・義務教育学校の前期課程（1～6年生）を含む。

中学校・・・義務教育学校の後期課程（7～9年生）を含む。

小学生・・・義務教育学校の前期課程（1～6年生）に通う児童を含む。

中学生・・・義務教育学校の後期課程（7～9年生）に通う生徒を含む。

小学1～6年生・・・義務教育学校の前期課程（1～6年生）を含む。

中学1～3年生・・・義務教育学校の後期課程（7～9年生）を含む。